

わがまちプラン（第五次大竹市総合計画）のめざす「住んでよかった」と思えるまちづくりに役立てるため、市民の皆さんの幸せ感に関するアンケートを平成23年度から実施しています。

平成30年度の状況を回答していたでく一般用と、1年前と比較して回答していただくモニター用のアンケートを昨年6月に実施しました。ご協力ありがとうございました。

アンケート結果【一般】

395人が回答

市内在住で満18歳以上の方から無作為抽出した1500人を対象に行い、395人から回答がありました。

結果概要【一般】

「安全なまち」 だけど不安も

問1は、わがまちプランに関する項目について尋ねたものです。多少の順位の変動はありますが、上位3位、下位3位の設問は8年間同じで、幸せを感じる設問は同じ傾向にあります。特に1位の「災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思ふ」は、平成25年度以降、常に1位で、今年度は2位と11・1ポイントの開きがあります。近年の大規模な災害でも、大きな人的被害がなかった結果と思われます。それでも豪雨や大地震などの災害対応などへの心配や、街灯の少なさへの不安などの意見が寄せられました。（表1）

問2は、市民自治についての考えを尋ねたものです。全体では、前年

度よりも1・6ポイント増加しており、わがまちプランに定める市民自治の理念は、前年度よりも少しだけ多くの人に受け入れられていると思われます。（表2）

※「わがまちプランに定める市民自治の理念」…まちづくりに興味を持ち、自分が暮らす地域をよいまちにするために、自らが考え行動すること

アンケート結果【モニター】

1年前と比較してみる

わがまちプランの期間（平成23、令和2年度）を通じて、アンケートに回答していただくモニターの方187人に送付し、133人から回答がありました。

無作為抽出する一般回答者とは別

に、毎年度同じ方に「1年前と比べてどうか」という視点で回答していただき、まちのイメージの変化を捉える資料としています。

結果概要【モニター】

「移動しやすいまち」ポイント上昇

問1全体の肯定的な回答の割合は、前年度の割合とほぼ同程度の68・2%で、引き続き高い数値でした。多くのモニターの方が、「大竹市は1年前よりも良くなっている」と感じています。特に設問「目的の地までの移動がしやすいまちだと思ふ」は前年度から9・4ポイント増と1番の伸びをみせ、全体の幸せ感を押し上げました。（表3、表4）

問2全体では、前年度より肯定的な回答の割合が、2・4ポイント下がりました。しかし、肯定的な回答割合が7割を超えていることから、多くの方にわがまちプランに定める市民自治の理念を理解していただいていると考えられます。（表5）

結果の公開

調査結果の詳しい内容は、わがまちプラン後期基本計画の数値目標達成状況とともに「行政評価報告書」にまとめています。情報公開コーナー（市役所2階）、各支所、図書館、市ホームページでご覧ください。

大竹市民の幸せ感に関するアンケート

結果を読み解く――

問い合わせ
企画財政課 ☎592125



表3

項 目	肯定的回答の割合(%)	
	平成30年度	平成29年度
生活基盤が整ったまち	58.9	55.6
安全なまち	65.4	68.8
安心できるまち	70.7	68.8
心にゆとりを感じるまち	68.2	68.8
大竹を愛する人づくり	77.9	80.1
問1 全体	68.2	68.4

表1

順 位	設 問	割合(%)
1 [1]	災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思ふ	88.1 [88.9]
2 [3]	あなたの暮らす地域が好きだ	77.0 [68.1]
3 [2]	生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている	73.2 [70.1]
13 [13]	大竹のよいところを知っている	45.8 [42.3]
14 [14]	地域産業が盛んでまちに元気があると思ふ	40.0 [39.6]
15 [15]	地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思ふ	30.4 [29.2]

[]は平成29年度

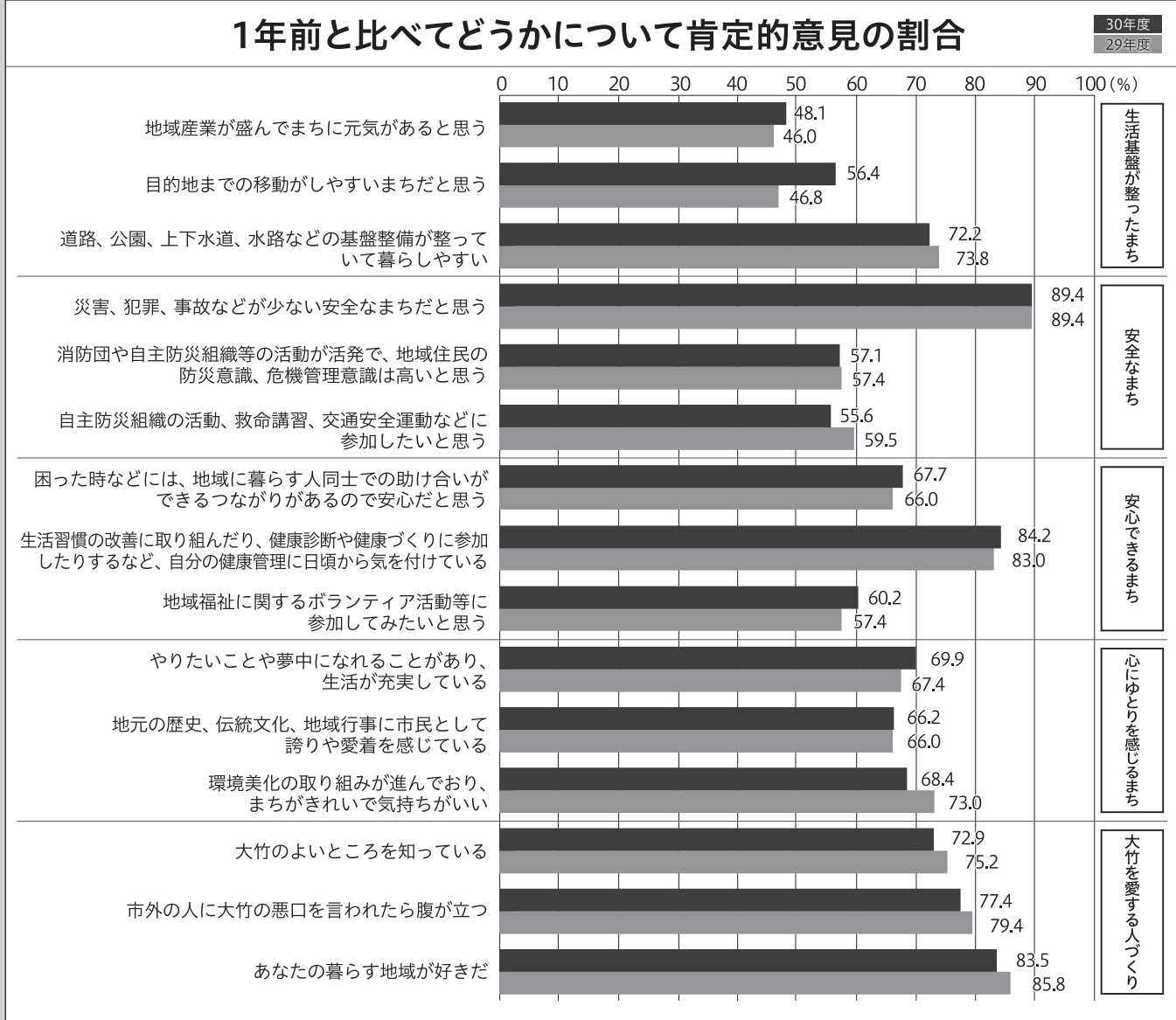
表5

設 問			肯定的回答の割合(%)	
			平成30年度	平成29年度
問2	市民自治	あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている	80.5	83
		自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい	72.2	74.5
		問2 全体	76.3	78.7

表2

設 問			平成30年度	平成29年度
			設問「はい」割合(%)	設問「はい」割合(%)
問2	市民自治	あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている	56.7	54.0
		自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい	40.5	39.9
		問2 全体	48.6	47.0

表4



大竹市の暮らしやすさは

「どちらかといえば暮らしやすい(54.2%)」が最も多く、次いで多い「暮らしやすい(22.0%)」と合わせると、75%以上の方が一定程度の暮らしやすさを感じているようです。その理由として、「生活に必要なお店や病院などがそろっている」「交通の便が良い」などの意見が多く挙げられています。

一方、暮らしにくさを感じている方も約20%おり、「買い物不便」「交通の便が悪い」などが理由として挙げられています。

今のまちの充実度は

充実している(「とても充実している」と「充実している」を合計したもの)と感じている施策は、次のとおりです。

・上水道の整備	46.2%
・下水道の整備	44.6%
・工業の振興	36.4%
一方、充実していない(「充実していない」と「あまり充実していない」を合計したもの)と感じている施策は、次のとおりです。	
・公共交通機関の整備促進	46.3%
・商業・観光の振興	42.9%
・道路の整備	37.1%

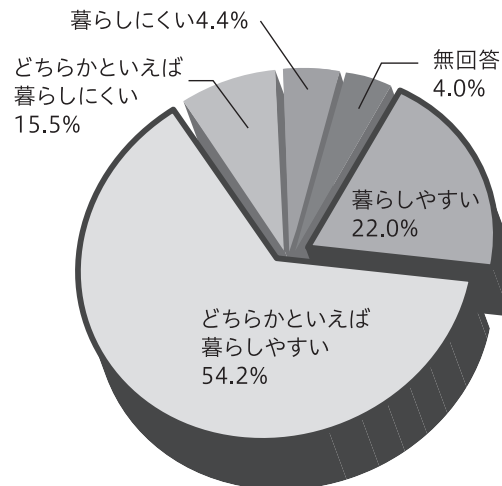
こんなイメージ持ってます

(^O^)[「自然が豊か」「人が親切」(>_<)[「空気がにおう」「人口減少」]

「大竹市まちづくり基本構想」

策定のための市民アンケート結果 問い合わせ 企画財政課 ☎59-2125

【大竹市の暮らしやすさ】



※四捨五入のため、内訳の合計は100%になりません。

第五次大竹市総合計画は令和2年度までの計画のため、新たなまちづくりの指針として「大竹市まちづくり基本構想」の策定に取り組んでいます。

第五次大竹市総合計画の取り組みを検証するとともに、まちづくりに対する市民の皆さんの考えをうかがうため、昨年6月にアンケートを実施しました。

市内に住所のある18歳以上の方から無作為抽出した2,100人にアンケート用紙をお送りし、504人(紙:475人、ネット:29人)の方から回答がありました。ご協力ありがとうございました。

今後の取り組みの方向性は

これから力を入れる(「もっと力を入れる」と「力を入れる」を合計したもの)と良いと思う施策は、次のとおりです。

・商業・観光の振興	60.9%
・公共交通機関の整備促進	57.7%
・幼児期の教育	56.0%

「商業・観光の促進」「公共交通機関の整備促進」は、充実していないと感じている施策でもあり、今後の取り組みへの強い要望が伺えます。

大竹市のまちのイメージは

良いイメージとしては「自然(海・山・川)が豊か」「親切な人が多い」など、悪いイメージとしては「空気がにおう」「人口減少」「活気がない」などが上位の意見となっています。

アンケートの分析結果やワークショップでの意見、アイデアなどを踏まえ、施策の方向性や具体的な取り組みなどを検討し、令和3年3月に「大竹市まちづくり基本構想」を策定する予定です。

今年度は、市内の小学5年生から高校生までの参加者30人が共に活動しました。学校も学年も異なる仲間との体験活動やスキルアップ講座、集団宿泊などを通して、未来の地域リーダーとなるために必要な力を身に付けました。回を重ねるごとに成長していくジュニアリーダーたちの姿を目の当たりにして、将来さまざまな分野で活躍していくことを楽しみにしています。

令和2年度の募集は4月号でお知らせします。



第1回 (5月) 出会う

学年や学校の違う参加者たちが顔を合わせ、グループワークや大竹の伝統文化など、同じ時間を共有しました。【自然の家やさか館】○野外炊飯○グループワーク○大竹手すき和紙体験



第2回 (6月) 近づく

「防災」をテーマに、広島県の自主防災アドバイザーを招き、専門的な技術を学びました。西日本豪雨時の被害状況を写真で紹介してもらい、命の尊さを改めて実感しました。【自然の家やさか館】○クロスロードゲーム○防災工作○災害危険箇所協議○消火訓練など



第3回 (7月) 深める

「川に関する活動」をテーマに、弥栄ダムを見学し、第2回目の知識も深まりました。【自然の家やさか館・総合市民会館】○弥栄ダム見学○水浄化ゲーム○グループワーク



第3回 (続編) (8月)

第3回(7月)で、天候不良のため中止となった、大膳川の「川登り」に再チャレンジしました。お互いを気遣い、助け合い2km弱の距離を登りきり、絆が一層深まりました。

第4回 (9月) 自立



「日常生活から社会を知る」をテーマにさまざまな分野で働かれている方を講師に招き、それぞれの仕事について、普段学生のときには聞けない話をしてもらいました。当初2泊3日のスケジュールが、台風接近に伴い1泊2日に短縮されましたが、ジュニアリーダーのみんなは限られた時間の中で、情報をしっかり吸収しました。【総合市民会館】○大竹市の不法投棄○歴史についての講義○あなたを支えるお金の話についての講義○携帯電話○スマートフォンの適切な利用についての講義○思いやりをカたち福祉についての講義



第6回 (1月) 歩む

第7回に向けて、どんなプログラムを実施するか、みんなで話し合いました。【自然の家やさか館】○次回プログラムの企画

第7回 (3月) まとめ

1年間学んできたことを生かし、自分たちの力だけでプログラムを実施します。【自然の家やさか館・総合市民会館】○総合市民会館まつりへの参加

